

## 極値問題 演習問題 3 解答

**問 1.** 半径 1 に内接する三角形の中で面積最大となる三角形は存在するか、さらに存在するとすればどのような三角形か求めよ.

(Hint: 半径 1 の円に内接する三角形の 3 つの角の大きさをそれぞれ  $x, y, \pi - x - y$  ( $0 < x < \pi$ ,  $0 < y < \pi$ ,  $0 < x + y < \pi$ ) とするとき, その三角形の面積は  $2 \sin x \sin y \sin(\pi - x - y) = 2 \sin x \sin y \sin(x + y)$  で与えられる (正弦定理のちょっとした応用である). したがって,  $D = \{(x, y) : 0 < x < \pi, 0 < y < \pi, x + y < \pi\}$ ,  $f(x, y) = \sin x \sin y \sin(x + y)$  とおいたとき,  $f(x, y)$  が  $D$  において最大値をもつか調べ, もし最大値をもつならばその最大値をとる  $(x, y)$  に対応する三角形を答えればよい.)

**解答.**  $D$  の境界を  $\partial D$  とし,  $\bar{D} = D \cup \partial D$  とする. すなわち

$$\begin{aligned} \partial D &= \{(x, 0) \in \mathbb{R}^2 \mid 0 \leq x \leq \pi\} \cup \{(0, y) \in \mathbb{R}^2 \mid 0 \leq y \leq \pi\} \cup \{(x, y) \mid 0 \leq x \leq \pi, x + y = \pi\}, \\ \bar{D} &= \{(x, y) : 0 \leq x \leq \pi, 0 \leq y \leq \pi, 0 \leq x + y \leq \pi\}. \end{aligned}$$

$\bar{D}$  は有界閉集合であり,  $f(x, y)$  は  $\bar{D}$  上連続であるから,  $f(x, y)$  は  $\bar{D}$  において最大値をもつ. ここで, 任意の  $(x, y) \in D$  に対し  $f(x, y) > 0$  であり, どんな  $(x, y) \in \partial D$  に対しても  $f(x, y) = 0$  とわかるから,  $f(x, y)$  の  $\bar{D}$  における最大値を実現する点は,  $D$  に属す. よって  $f(x, y)$  は  $D$  においても最大値をもち, とくにそれは極大値でもある. 一方,  $f(x, y)$  が  $D$  において極値をとる点の候補は, 連立方程式

$$\begin{cases} f_x(x, y) = (\cos x \sin(x + y) + \sin x \cos(x + y)) \sin y = \sin(2x + y) \sin y = 0 \\ f_y(x, y) = (\cos y \sin(x + y) + \sin y \cos(x + y)) \sin x = \sin(x + 2y) \sin x = 0 \end{cases}$$

を解いて,  $(x, y) = (\pi/3, \pi/3)$  のみだとわかる. 以上より,  $f(x, y)$  は  $D$  において  $(x, y) = (\pi/3, \pi/3)$  のとき最大となる. 対応する三角形は,  $x = y = \pi - x - y = \pi/3$  のとき, すなわち正三角形である. ■